

政務活動の主な内容、成果等

① 安心安全の道路整備について

○目的

- 1, 県道鹿田 - 玉造線の拡幅工事。
- 2, 県道大洗 - 友部線のバイパス工事
- 3, 県道銚田 - 大竹線のバイパス工事
- 4, 大竹海岸の侵食対策について

○活動期間

令和2年4月～令和3年3月

○主な訪問先

銚田工事事務所

茨城県土木部

銚田市大竹、田崎、下太田、鹿田、白塚地区

○活動内容

住民からは

目的の1・2は「狭歪で危険であるから早急に工事をして欲しい」

目的の3, は16年越しの計画を、速やかな工事着手できるように進める。

目的の4は、2011年の東日本大震災でそれまでにできていた侵食対策工事計画が大幅に変更されてしまった。震災後の侵食は震災前より侵食されている。早急に工事に取り掛かれるよう進める。

その実態を調査、住民から聞き取り調査をした。幾度も早期開始するように事務所に伺う。

○成果等

目的1・2・3は、地権者や茨城県土木部関係者の働きで予想より工事が進捗した。今後もこの事業を持続させていく。目的1の路線は、将来、下鹿田交差点が変則であることを解消して直進させ、大洗友部線に連絡できることが将来像である。引き続き市民の意見を確認していきたい。

政務活動の主な内容、成果等

② 公職選挙法について

○目的

「公職選挙法」から見る、不法「野立て看板」取締りについて

○活動期間

令和2年4月～令和3年3月

○主な訪問先

鉾田警察署 茨城県警察本部
茨城県選挙管理委員会
鉾田市・茨城・大洗町の全域

○活動内容

今年度も茨城県選挙管理委員会の「公職選挙法」の説明では、
掲示できる場所 規格・数量 証票の貼付の義務がある。と説明される。
公職選挙法の上記規定に抵触する看板への対応について、鉾田警察署署長
並びに茨城県警本部と茨城県選挙管理委員会が情報を共有し指導をしてい
る。との説明がある。
現実、現場はどの様になっているか実態を調査している。

○成果等

選挙管理委員会も茨城県警察本部も、選挙法に沿った「証票の貼ってない違法看
板」の撤去指導指示を実行しようとしていない。
令和3年度も「公職選挙法は、公職候補者の民主性と平等性を目的としたものであ
る」そのために、引き続き「行政側の選挙法の遵守と指導」を働き掛けていく。

政務活動の主な内容、成果等

③ 農地中間管理機構関連農地整備事業について

○目的

米価下落で水稻耕作の魅力が無くなる。又、水稻耕作者の後継者が減少する中で、水田の荒廃が懸念されている。その様な中、農地中間管理機構関連農地整備事業で土地改良を図り、使い勝手の良い農地の確保と安定した農家の収益確保を確立したい。

○活動期間

令和2年4月～令和3年3月

○主な訪問先

鹿行農林事務所、銚田市産業課
茨城県土木部
銚田市田崎地、上太田、下太田、箕輪、鹿田地区

○活動内容

地域の区長へ、事業内容をご理解いただくよう働きかけている。

○成果等

農地中間管理機構関連農地整備事業について地権者にご理解をいただき事業の合意形成ができる様、鹿行農林事務所土地改良部門職員銚田市産業課職員より働きかけて頂いている途中である。
地元地権者への説明会も開いた。

令和2年度政務活動実施成果報告書

会派・議員名 しげる会 豊田 茂

政務活動の主な内容・成果等

・災害対策について

① 目的

台風第19号及び21号豪雨災害による復旧要望。(継続)

② 活動期間

令和2年4月～令和3年3月

③ 主な訪問先

北茨城市役所

高萩市役所

高萩工事事務所

④ 活動内容

高萩市・北茨城市を通る二級河川が、台風被害による護岸が崩落し接続している道路が陥没するなどの被害を受けた。令和元年より継続して現場確認・調査を行い、復旧工事の進捗を注視する。



⑤ 成果等

令和2年度予算などの執行により護岸整備事業に着手し、令和3年度中に工事完了予定。



【進捗状況】

令和 2 年度政務活動実施成果報告書

会派・議員名 しげる会 豊田 茂

政務活動の主な内容・成果等

・ 県道高萩塙線バイパスの推進について

① 目的

県道高萩塙線バイパス整備事業の推進（継続）

② 活動期間

令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月

③ 主な訪問先

高萩市役所

高萩工事事務所

高萩市

④ 活動内容

県道高萩塙線バイパスにおいて着工できる場所から優先的に道路整備をしている。管轄の高萩工事事務所において用地取得に難航していた地権者からの用地取得を推進した。

⑤ 成果等

令和 2 年度予算にて地盤改良工事に着工、令和 3 年度も工事予定。



【進捗状況】

政務活動の主な内容・成果等

・道路拡幅事業について（明德小学校学区通学路安全対策）

① 目的

明德小学校学区通学路の危険個所の一部の、道路拡幅事業

② 活動期間

令和 2 年 4 月～令和 2 年 8 月

③ 主な訪問先

高萩工事事務所
北茨城市磯原町

④ 活動内容

県道 10 号日立いわき線、木皿保育所入口巡回バス停留所付近から学校側に下がったカーブ周辺にてガードレールにより歩道の安全確保がされず歩行者の往来に十分な道幅の確保がされていない。狭い県道の上、カーブで対向車の見通しも悪く、通勤車両の走行も多いために改善が必要。



⑤ 成果等

地権者及同意のもとガードレールを撤去、さらに車線分離標赤色ポストコーンを設置することで歩行者の安全確保につながった。



令和2年度 政務活動実施成果報告書

はやとの会 中村はやと

政務活動の主な内容、成果等
道路状態の改善について

① 目的

古河市女沼地区 県道250号 古河総和線について、大型車両の通行等により生じた道路の波打ちを改善する

② 活動期間

令和3年3月

③ 主な訪問

古河市女沼地区

④ 活動内容

当該地区は昨今の交通量の増加により、特に大型トラックによる道路の傷みが深刻であった。特に近隣の住民からは波打ちや段差により車両が通る度に振動、騒音が発生しているとの声があったので近隣住民への聞き込みをし、関連行政へ度々要請を行った。



⑤ 成果

道路状態は改善され、地元住民からも振動・騒音が無くなったとの声があった。

政務活動の主な内容・成果等

・県政報告活動の実施について

① 目的

茨城県議会の活動を県民に情報発信

② 活動期間

令和2年4月から令和3年3月

③ 活動地域

古河市内全域

④ 活動内容

昨今の茨城県議会議員選挙の低投票率を受けて、より県民に情報発信をする事が必要と考え、各地域主要部にて街宣車のスピーカーやハンドスピーカーを使いながら毎週末県政報告を行った。



⑤ 成果

近隣住民から、積極的な情報発信が助かるとの声があったり、逆に県民からの県への様々な意見を聞く機会になった。

令和2年度政務活動実施成果報告書

会派・議員名：美しい茨城をつくる会 設楽詠美子

1. 茨城県教育庁への街灯の設置に関する要望

【目的】子どもたちの安全安心の登下校のために

【日時】

令和3年1月26日 現地確認と茨城県教育庁はじめ関係機関との意見交換実施

【内容】

下館工業高校から、大田郷駅までの道のりに、街灯が少ない状況があります。大田郷駅には、不審者も見られます。対策について意見交換を実施し今後の計画を立てました。

【回答】

関係機関と連携をして子どもたちの安全を第一に対応します。



2. 筑西市南町地内の標識の移動等に関する要望

【目的】生活者目線の安全安心の道路標識位置の改善のために

【日時】

令和3年2月13日 現地確認

令和3年2月17日 筑西警察署署長への要望書提出

【内容】

筑西市南町地内には、通行の妨げになる標識が多数ございます。そのために、接触事故（自動車と自転車、自動車と歩行者）や自動車による標識への接触等が多数発生しております。標識は必要であり、地域からも求められておりますが、事故が多く不安の声を多数お聞きしているところがございます。つきましては、適切な対応が求められますので、標識の移動等を含めご検討いただけますようお願いいたします。

【回答】

表札を一つにまとめて、通行に支障をきたさないようにします。



3. 信号機の右折指示の標示の要望

【目的】生活者の利便性のさらなる拡大のために

【日時】

令和3年2月13日 現地確認

令和3年2月17日 筑西警察署署長への要望書提出

【内容】

筑西市の門井交差点では、信号機に右折指示の標示がないために渋滞が発生しております。また、信号機が変わってから曲がらなくてはいけない状況も生じており危険な状況です。国道50号と交差する県道つくば真岡線、それぞれに同様の課題がございます。

信号機への右折指示の標示の設置は、地域の生活者が日々、必要と感じております。早急なご対応を要望いたします。どうぞ、よろしく願いいたします。

【回答】みなしの右折車線になっているために、信号機への右折指示の設置は難しい状況です。土木事務所に相談をして交差点の改良ができた場合は、再度考えます。





4.小貝川沿いのサッカー場ならびにテニスコートの整備の要望

【目的】スポーツ振興のために

【日時】

令和2年12月25日 現地確認

令和3年1月中 筑西市役所に対し、市議会議員を通して要望

令和3年3月中 筑西市がネットを貸し出す方針を決定（改善しました。）

【内容】

小貝川沿いの筑西市管理のサッカー場、テニスコートのネットならびに地面の部分の整備が十分でなく、練習等を実施する際に支障をきたしております。特に、サッカー場は、ネットがボロボロで、ゴールするとボールが遠くに飛んで行ってしまいます。

特に、サッカー場のゴールネット、テニスコートの地面の部分の早急な整備を要望いたします。どうぞ、よろしく願いいたします。

【回答】

ネットは常時設置したままになっており、劣化しやすい状況があります。新しいものを購入して、貸し出しする方向にします。



令和 2 年度活動報告

うすいの会 白井 平八郎

新型コロナウイルス感染対策について

令和 2 年に発生・拡大した新型コロナウイルス感染症 (covid-19) は、本県でも猛威を振るい、県民の健康を脅かすのみでなく、経済的にも大きな打撃を与え、今後も予断を許さない状況にあります。

本県では、コロナ対策として予算規模 250 4 億 6000 万円にのぼる様々な対策を行い、100 年に 1 度と言われる未曾有の事態に対応してきました。そうした中で、コロナ患者の入院病院や保健所、PCR 検査場などの現場視察を行ってきました。

特に医療従事者や保健所職員は苦境の連続で、改めて感謝するとともに、いかにこの苦境を乗り越えていくかを話し合いました。令和 3 年度に入って医療従事者、65 歳以上のワクチン接種が開始されましたが、そのスピードに地域間格差がありました。

Covid-19 の問題では、個々の病院、そして個々の医療従事者や保健所職員の努力でこの苦境を乗り越えている感が否めませんでした。

本県は医療過疎地域と言われ、医療資源が乏しい状況の中で、この苦境に立ち向かっています。乏しい医療資源を生かして県民の命を守るためには、医療のネットワークが必要不可欠と実感しました。個々の病院や診療所、保健所職員の努力に加え、ネットワークを結ぶことで、数少ない医療資源を最大限生かす可能性が出てきます。しかし、現実には電子カルテが導入されていない救急病院も多くあるのが実情です。ネットワークを結ぶためには、患者の病歴や投薬、検査の情報が医療間でスムーズに共有する必要があり、電子カルテは必要不可欠な情報資源となります。国、県の支援を行って有益なネットワークの構築が急がれていることを実感いたしました。

今後、65 歳以下のワクチン接種が始まりますが、医療ネットワークの整備を進めながら、地域格差のない速やかなワクチン接種の終了が行われ、covid-19 に打ち勝っていくことを切に願っています。

農業の人材育成と研究部門の強化について

日本で有数、県内でもトップクラスの農業高校とされる水戸農業高校や銚田二高、そして農業大学校、県農業総合センターの視察調査を行いました。

政府の方針では、2030 年までに農産物食品の輸出 5 兆円を目標にしています。7 億 5000 万円の現状から、儲かる農業実現のために輸出を大幅に増やして、スマート農業実行のための人材育成が必要とされています。しかし、人材育成の基本ともなる農業高校では、施設・

設備の老朽化や最新の技術を教えるための設備の不足などを実感し、委員会など提言を行いました。

医師不足の対応について

全国最下位とされる本県の現状は、2018年12月時点で5286人、人口10万に当たりの医師数は埼玉県に次いでワースト2位です。医師確保のために16億円の予算を投入し、医師確保に努めています。一方で、将来医学部に進学する生徒を育成しようと、中高一貫校10校を実現しました。

しかし、何よりの医師確保策は、実際に本県に勤務した時に、何を得られるのか、何に充実感を得られるのかが重要で、現場の生の声を吸い上げて、医師確保に生かす必要性をcovid-19での現場視察で痛感しました。

医療現場では、医師や看護師が確保されないために病床を休床せざるを得ない病院がある一方で、ある分野のエキスパートを慕って若い医師が集まる病院もあります。また、医療過疎とされる本県で、地域医療体制の構築をテーマに日々努力され、その医師のもとに集まる若い医師もいます。こうした現状の中で、医師確保のためには現場で日々努力される医療人を行政としていかに支援していくかの観点から、今後も提言を行っていきたいと考えています。

茨城県アクアワールド大洗水族館のジンベイザメ展示について

2020年11月に、ジンベイザメ展示の先駆けとなった沖縄県美ら海水族館を調査・研究してきました。この水族館は、ジンベイザメ展示を行い、毎年沖縄県内外、そして海外からも約380万人が訪れる人気の水族館です。

ジンベイザメ展示に対しては、様々な試行錯誤が行われたということです。一番重要なのは、やはり人財です。飼育自体も難しい中、公共の水族館では単に飼育するだけでなく、その生物に対する研究・調査も行っていかなければなりません。

アクアワールド大洗水族館は、開館当時から全国一の種類のサメを有する水族館としてオープンし、様々なサメの研究・調査も行われてきました。

こうした経緯に加え、全国でも飼育例の少ないジンベイザメを飼育することは、将来の本県の観光振興の面でも大きな起爆剤となりうると考え、前向きな議論を行っていきたい。